



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和 7 年 7 月 29 日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（7 年 4 月判断）	今回（7 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	→

（注）7 年 7 月判断は、前回 7 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 4 月判断）	今回（7 年 7 月判断）	前回 比較
-----	---------------	---------------	----------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	6 年度は前年度を上回る見込み	7 年度は前年度を下回る見込み	↘
企業収益	6 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	→
企業の 景況感	「上昇」超幅が縮小している	「下降」超に転じている	↘
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	→
輸出	前年を下回る	前年を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、低気温の影響により夏物衣料などが不調で、前年を下回っている。スーパー販売は、調理が簡便な冷凍食品などが好調で、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、花粉症対策関連商品などが好調で、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、話題性のある商品などが好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、自動車認証不正取得問題の影響から回復しつつあり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 肌寒い日が多かったことから、夏物衣料の動きが鈍かった。（百貨店）
- 物価上昇による節約志向が続いているものの、簡単に調理できる冷凍食品は好調であるなど、消費者のニーズに合った商品はよく売れている。また、米の価格上昇により売上が伸びたほか、米の代替として食パン、パスタなども売上が伸びている。（スーパー）
- 昨年に比べて花粉の飛散期間が長かったため、鼻炎薬や目薬などの花粉症対策関連商品が好調だったほか、6月以降は気温の上昇とともに、日焼け止めや制汗剤などの夏物商材が伸びている。（ドラッグストア）
- 物価上昇により必要な商品以外は買い控える傾向にあるものの、キャンペーンなどで話題性のある商品の売上は好調だった。（コンビニエンスストア）
- 自動車認証不正取得問題の影響から回復し、問題発生前の水準に戻りつつある。（自動車販売）

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

輸送機械は、造船で新燃料船の建造需要が増加し、数年先まで手持ちの工事量を確保できていることなどから、増加している。一般機械は、海外向けの需要が回復傾向にあることから、増加している。プラスチック製品は、車載向けの需要が堅調であることなどから、増加している。鉄鋼は、自動車向けの需要が堅調であることなどから、増加している。電気機械は、EV市場が減速している影響により半導体の受注が伸び悩んでいることなどから、減少している。このように、生産活動は、全体では、横ばいの状況にある。

- 脱炭素の流れを受け、新燃料船の建造需要が増加しており、数年先まで手持ちの工事量が確保できているなど、フル生産が続いている。（輸送機械）
- 欧州向けで、金利水準の高止まりによる需要の減退が続いていたものの、金利の低下とともに企業の設備投資意欲が高まっており、需要が回復傾向にあるため、生産量が増えている。（一般機械）
- 北米や中国を中心に、車載向けディスプレイの需要が引き続き堅調なことから、生産量が増えている。（プラスチック製品）
- 現状では米国の通商政策の影響はみられておらず、自動車向けの需要が引き続き堅調なことなどから、生産量が増えている。（鉄鋼）
- EV市場が減速している影響によりパワー半導体の受注が伸び悩んでいることから、生産量が減少している。（電気機械）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

新規求人数は、前年を下回っているものの、有効求人倍率は、緩やかに上昇している。また、企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（7年4-6月期）の従業員数判断BSIでみると、前期に比べて「不足気味」超幅は縮小しているものの、「不足気味」超が続いている。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 新卒採用が計画の半分程度にとどまるなど、必要な人数を集めることが出来ないため、中途採用の求人募集を通期で行うことで、人手の確保に努めている。（その他の輸送用機械）
- 人手不足を解消するために、在庫管理の支援システムを導入するなど省人化を進めているほか、賃上げや福利厚生の実施にも取り組んでいる。（小売）
- 人手不足が続いており、最近は、スポットワークを利用する企業が増えている。（人材・職業紹介）

■ 設備投資 「7年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期

- 製造業では、「食料品」などで減少するものの、「その他製造」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸・郵便」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 倉庫の新設等の設備投資を実施。(その他製造)
- 前年度の発電関連の大型設備投資の反動により減少。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期

- 製造業では、「その他製造」などで増益となるものの、「生産用機械」、「自動車」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」)では、「小売」、「農林水産」などで増益となるものの、「情報通信」、「学術研究・専門・技術サービス」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、持家が減少しているものの、給与住宅、貸家が増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

- 輸出(円ベース)は、一般機械が増加しているものの、自動車、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アフリカで増加しているものの、西欧、北米などで減少している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、鉄鉱石などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では大洋州、中東欧・ロシア等で減少している。

広島県内経済情勢報告

(令和7年7月29日)

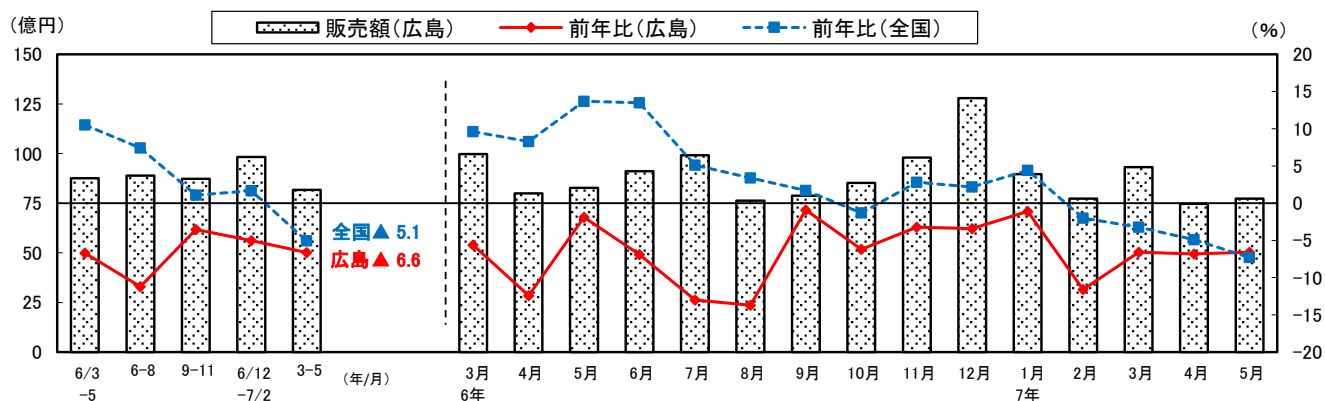
資料編

目次				ページ
1.	個	人	消 費	----- 1
2.	生	産	活 動	----- 3
3.	雇	用	情 勢	----- 4
4.	設	備	投 資	----- 5
5.	企	業	収 益	----- 5
6.	企 業 の	景 況	感	----- 6
7.	住 宅	建 設		----- 6
8.	輸		出	----- 7

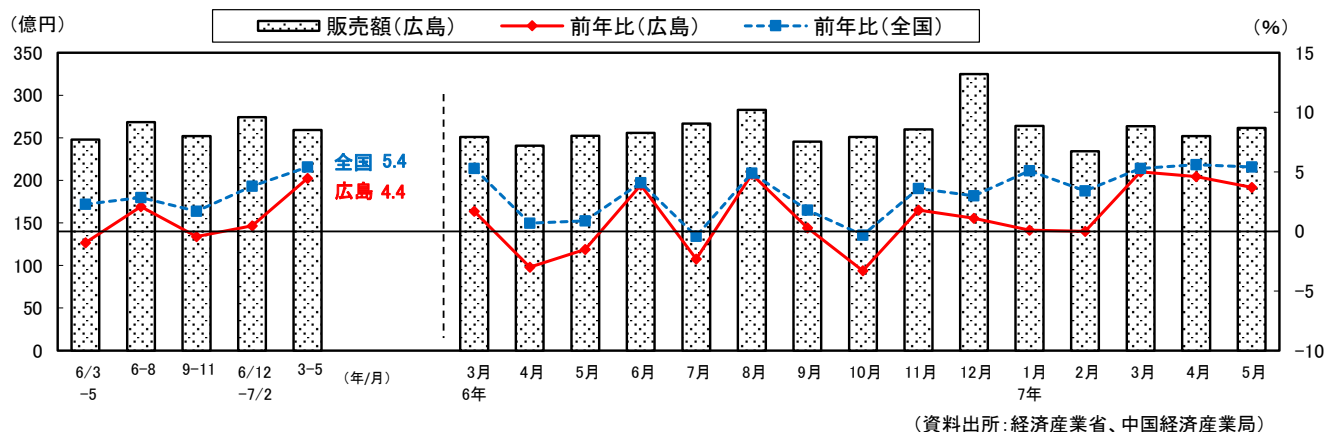
1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

(1) 百貨店販売額(全店舗)

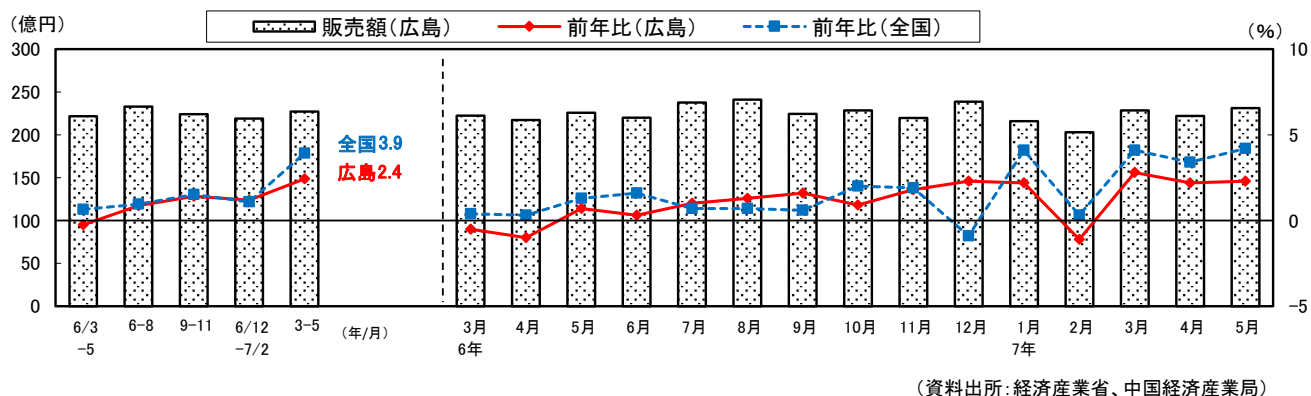
(注) (1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



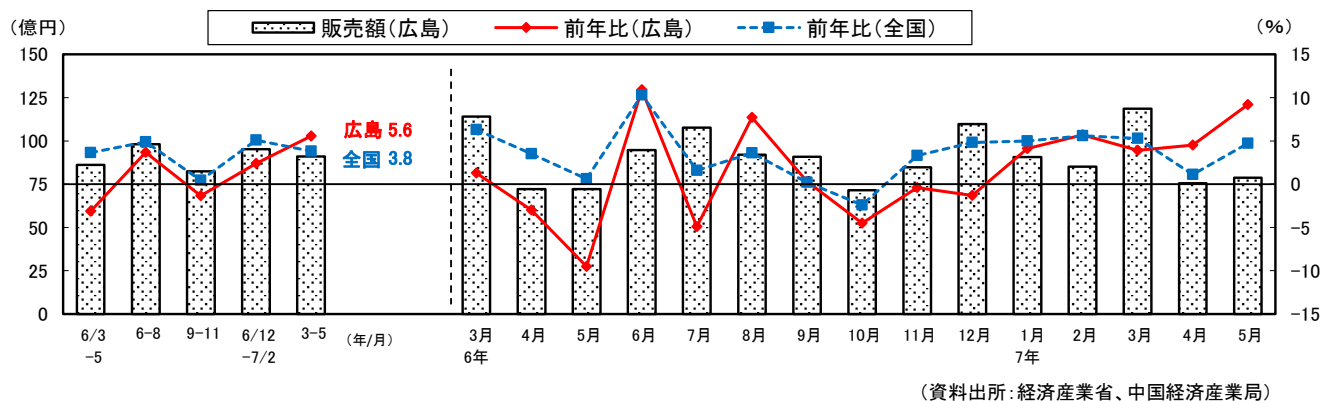
(2) スーパー販売額(全店舗)



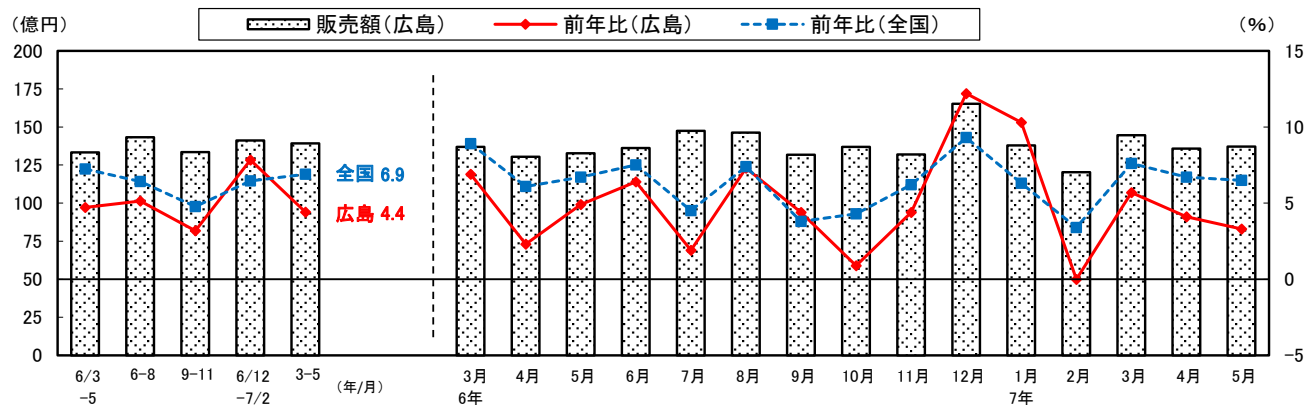
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

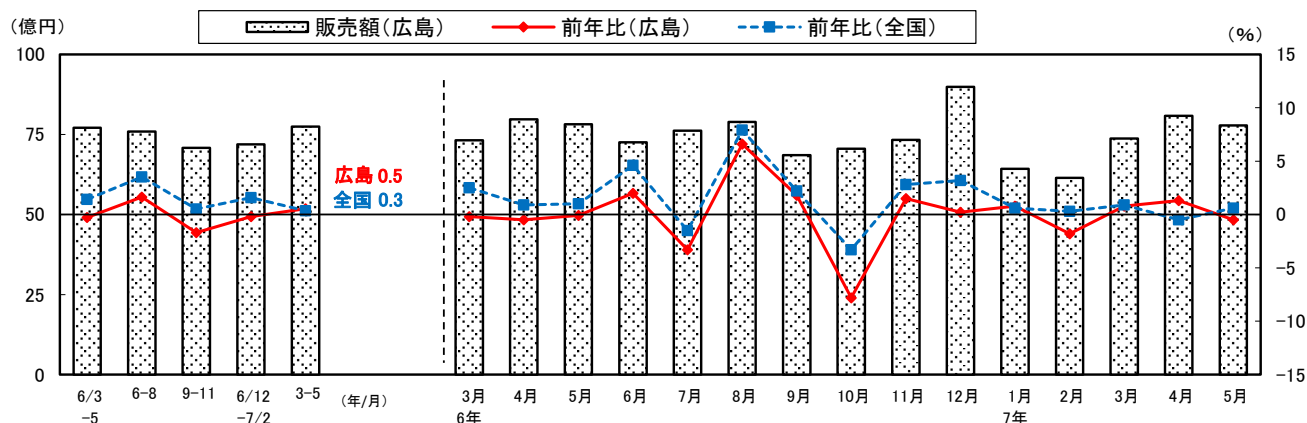


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



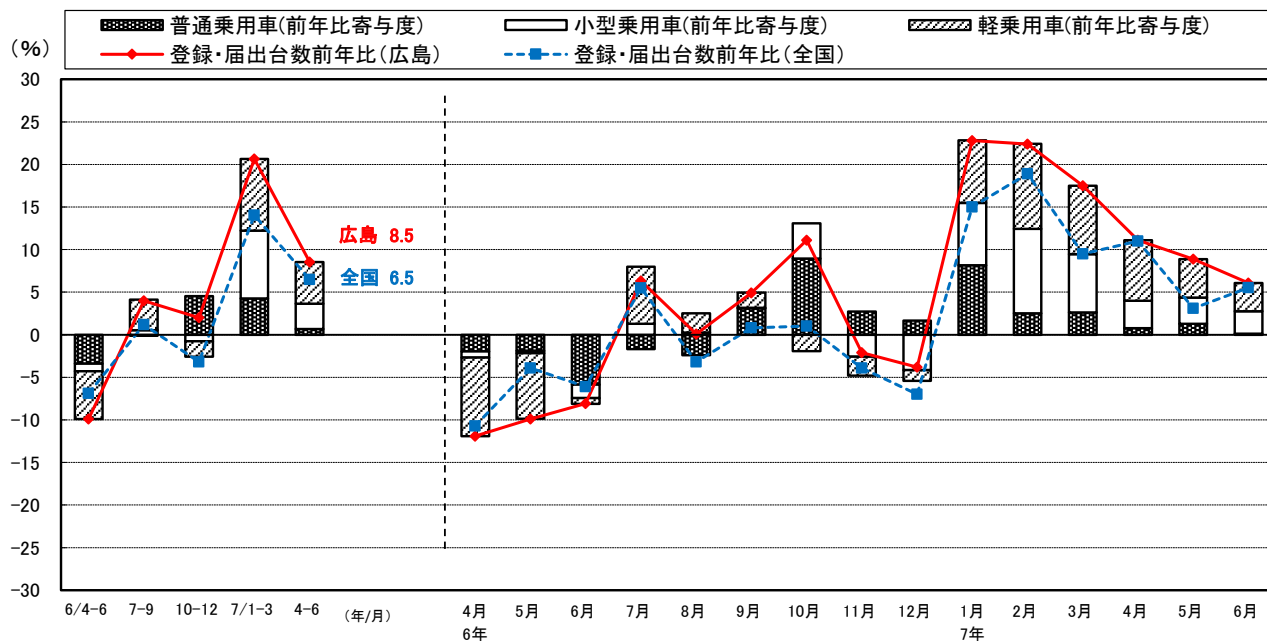
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

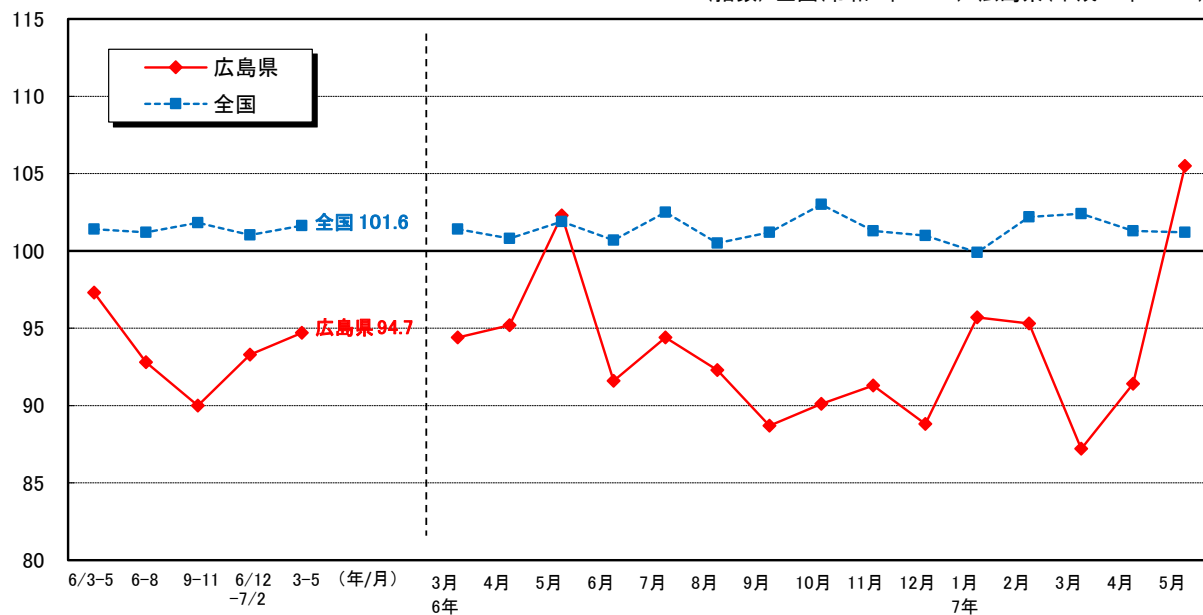


(資料出所: 中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車販売協会)

2. 生産活動 横ばいの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

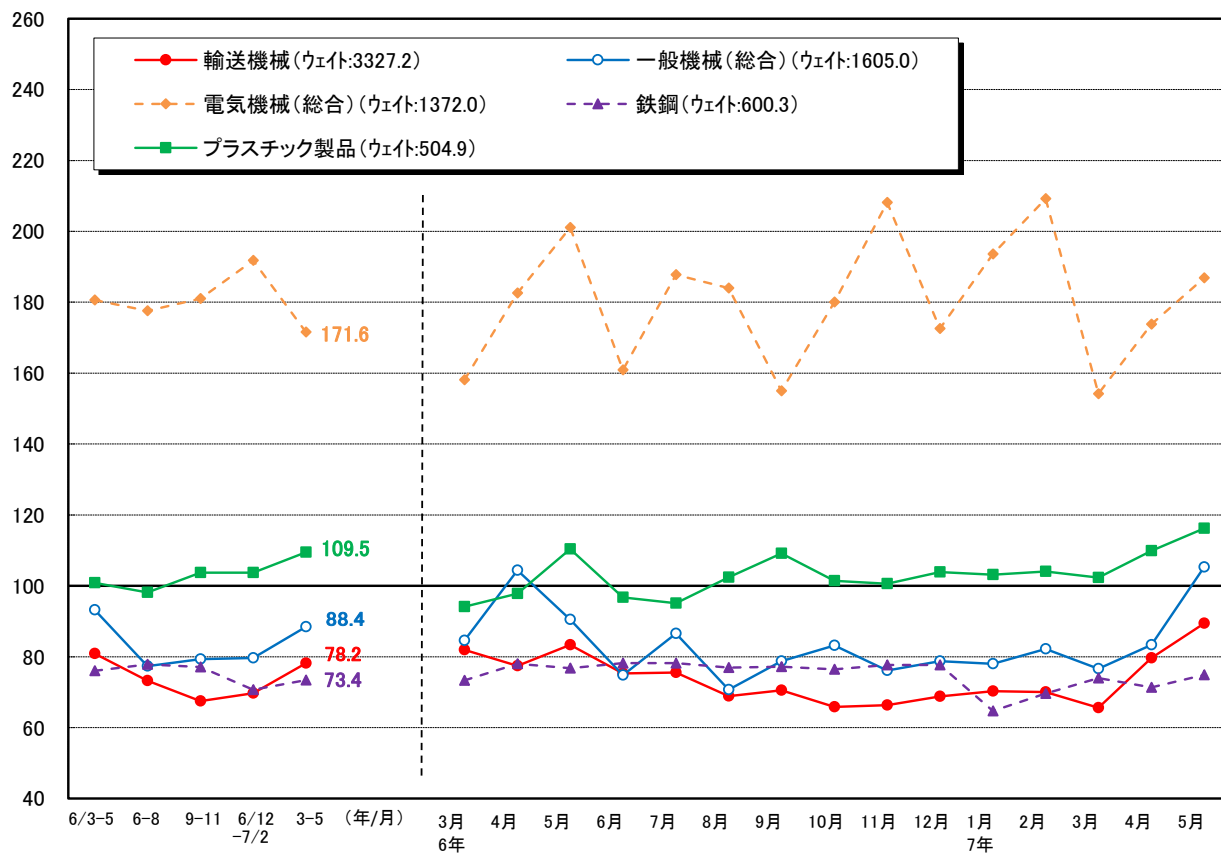
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

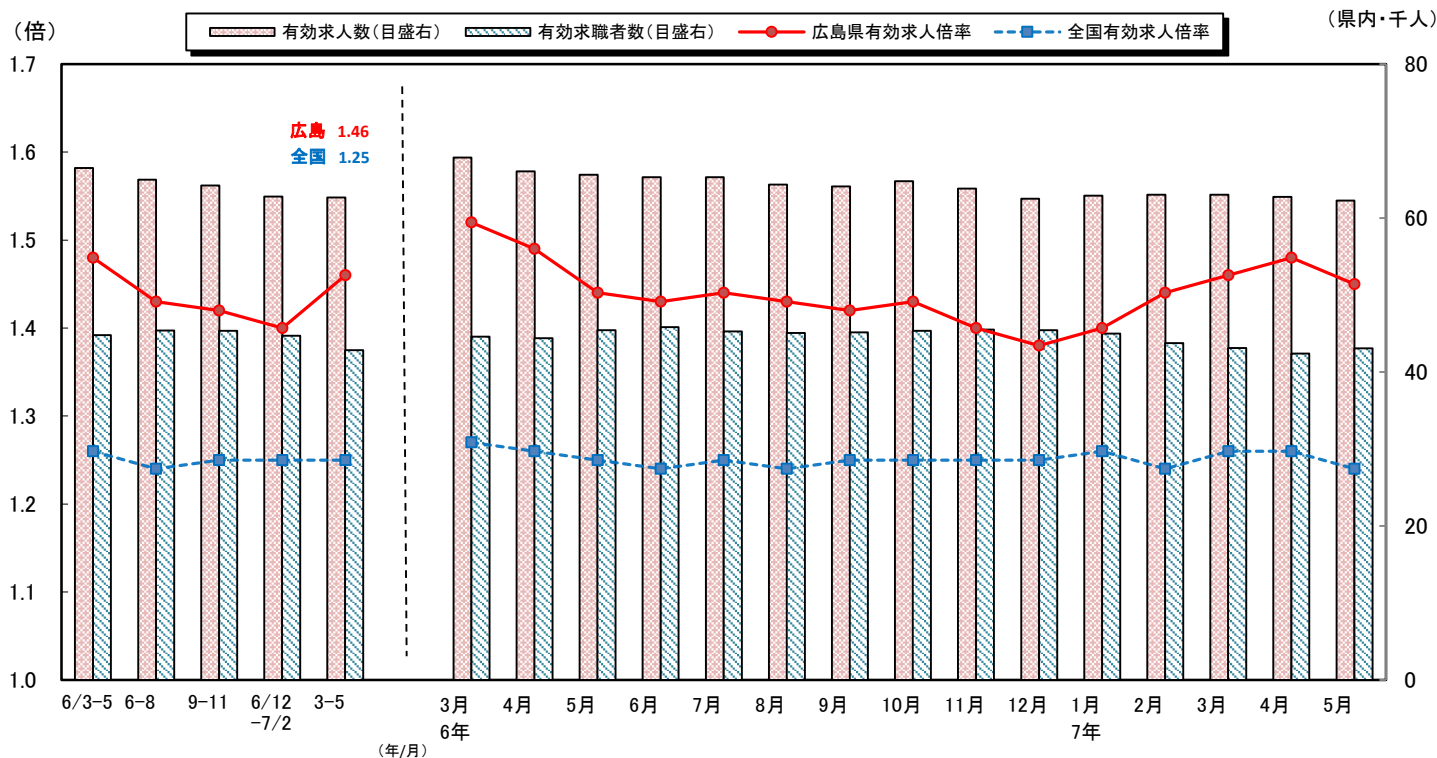


(資料出所: 広島県)

3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

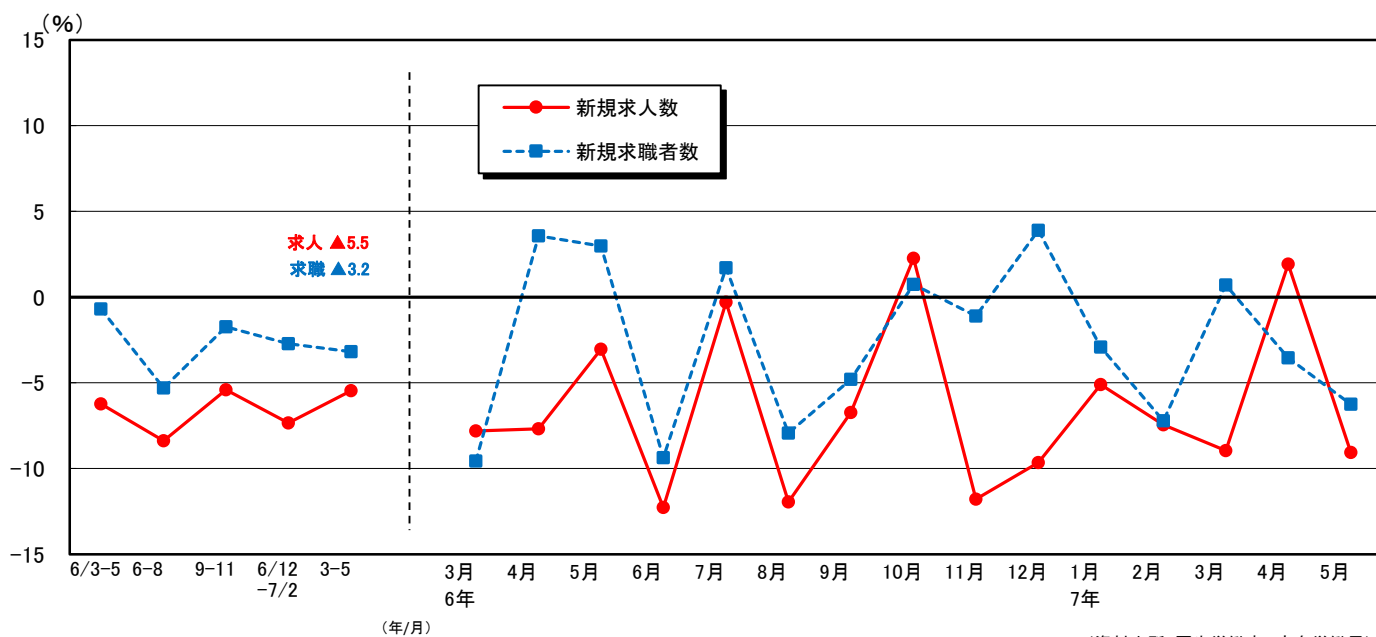
(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

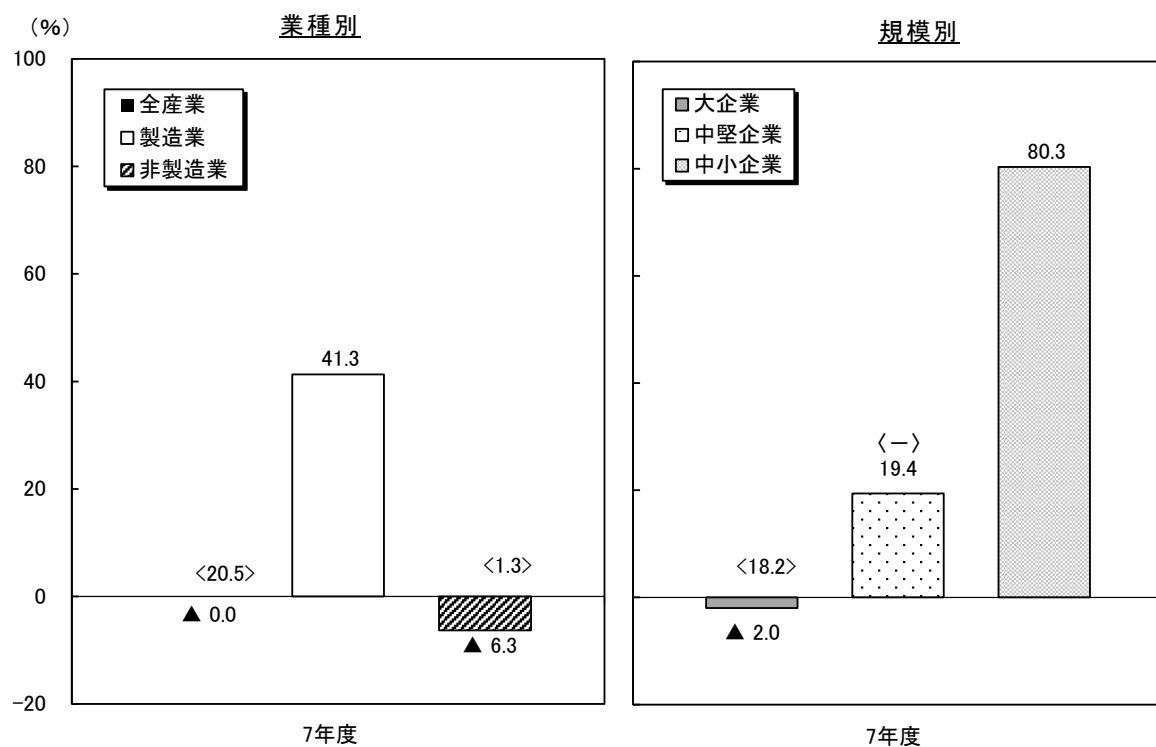
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

4. 設備投資 7年度は前年度を下回る見込み

設備投資額(前年度比)

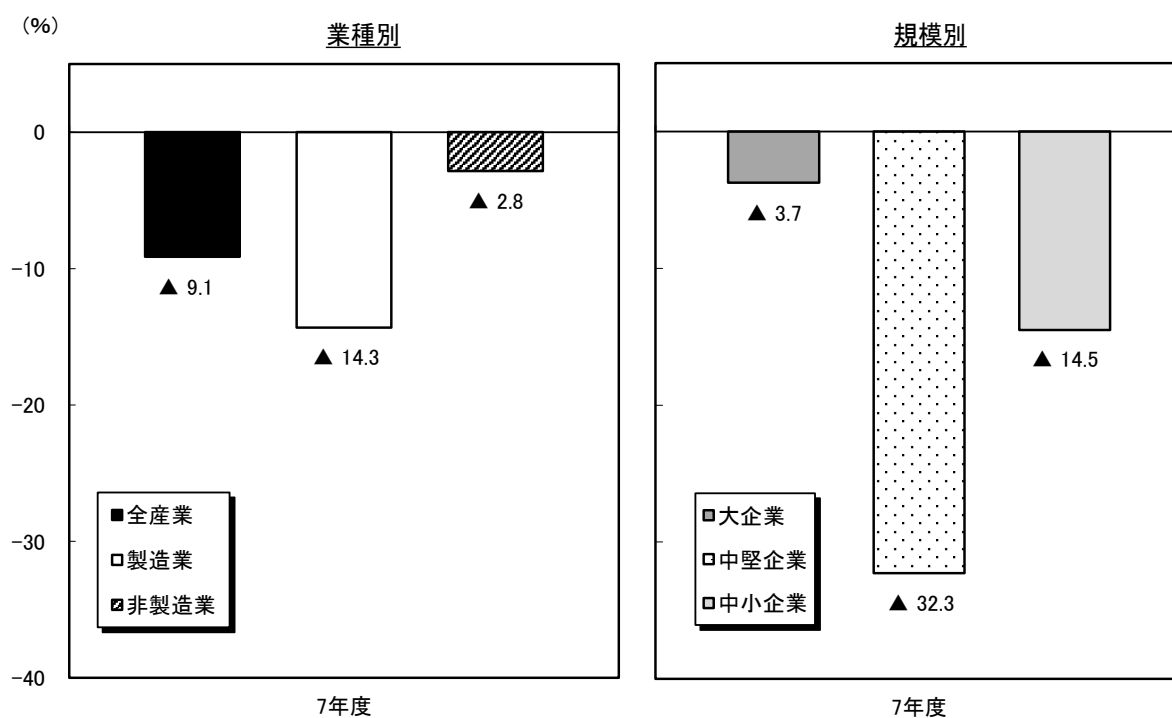


< >書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 7年度は減益見込み

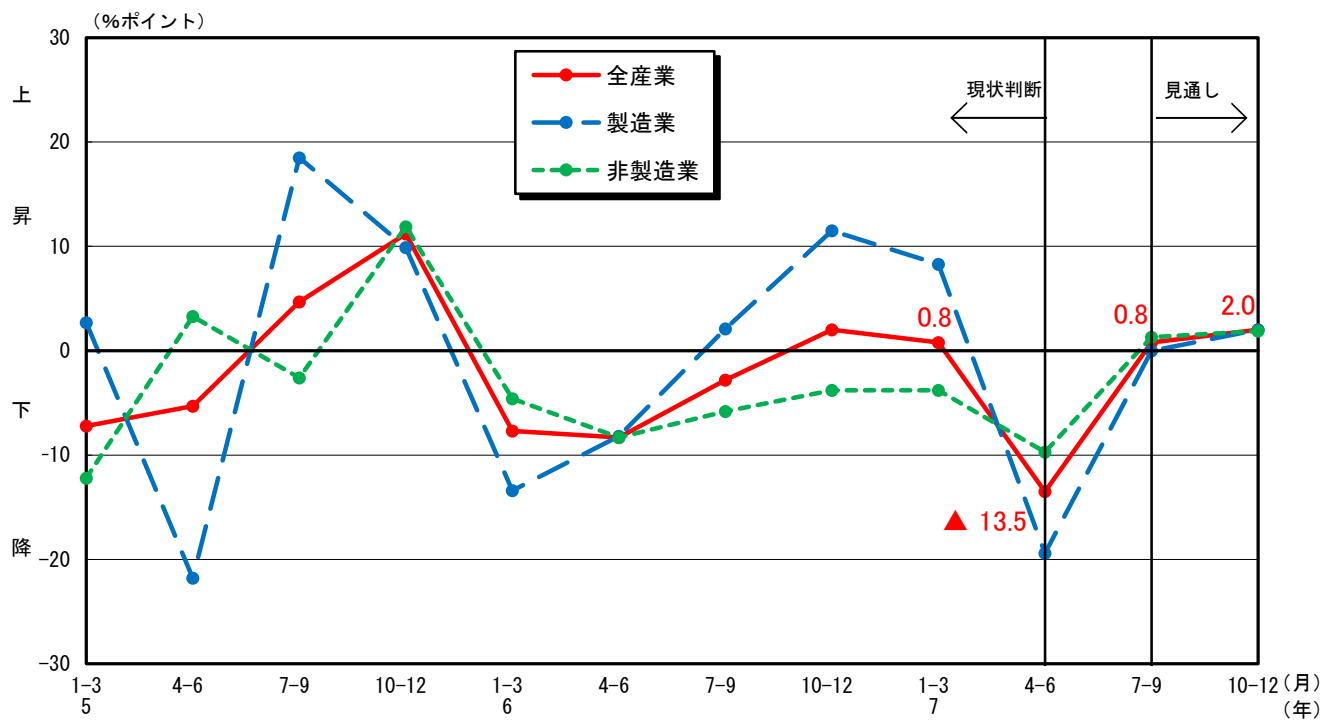
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じている

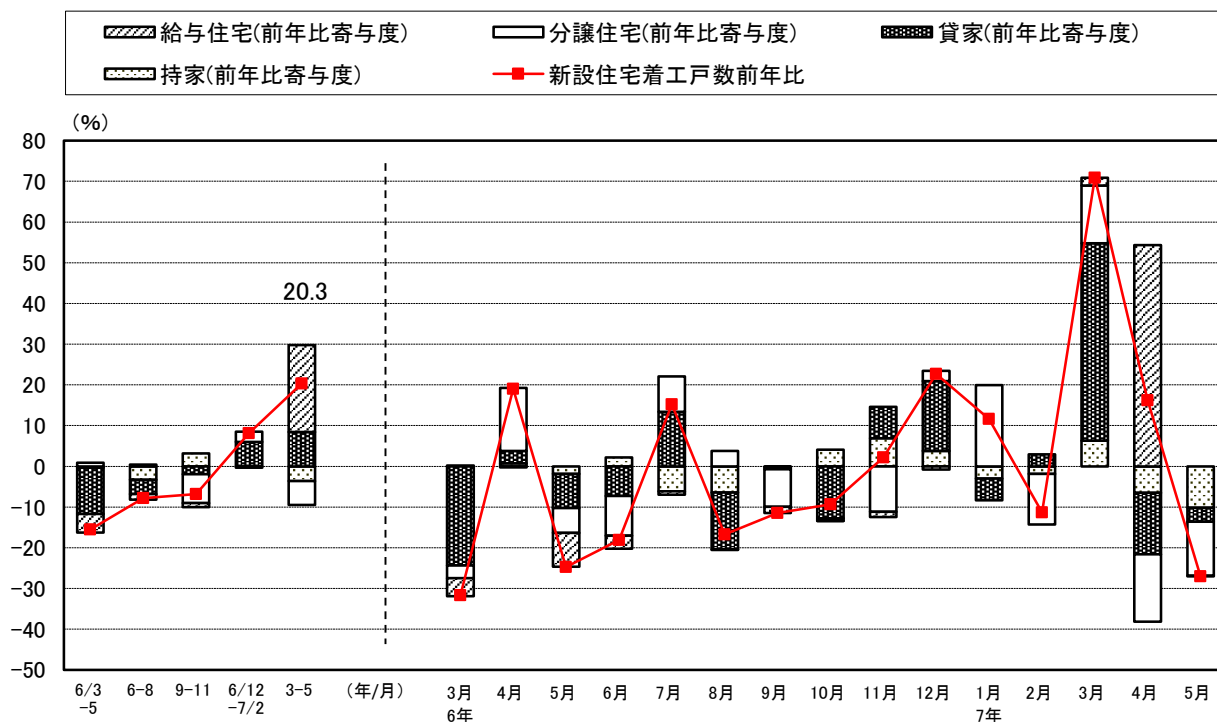
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を上回る

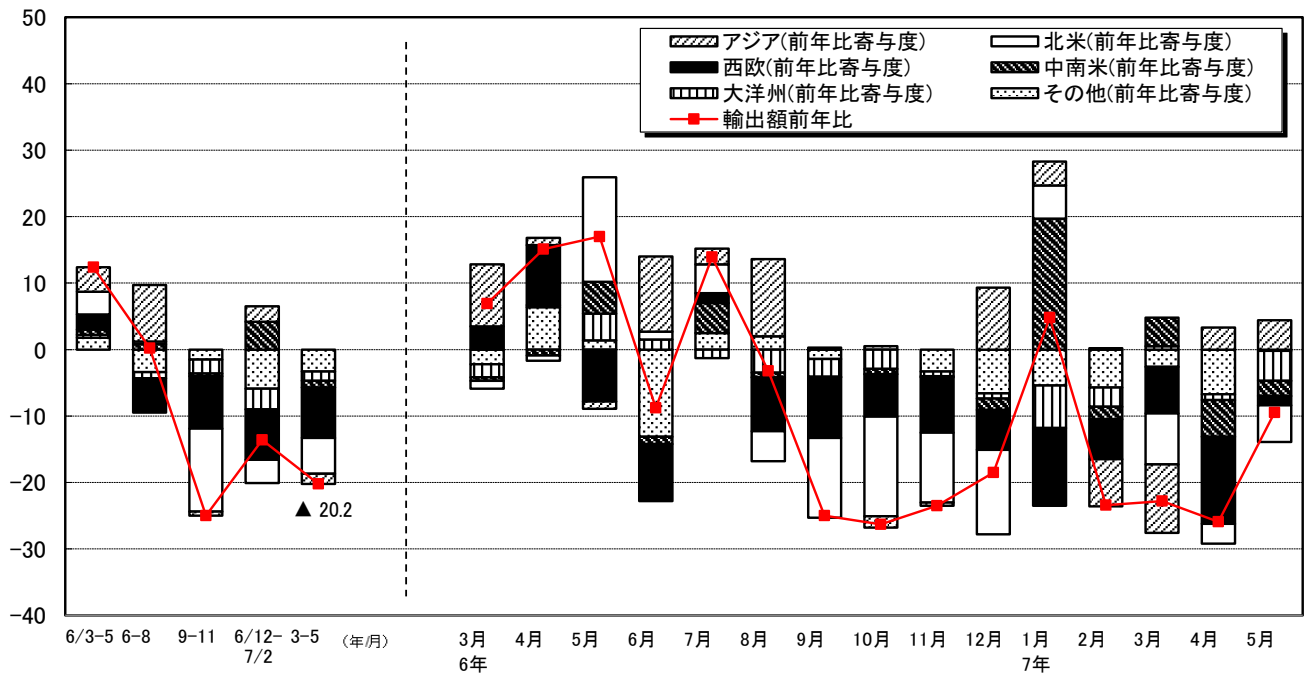
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を下回る

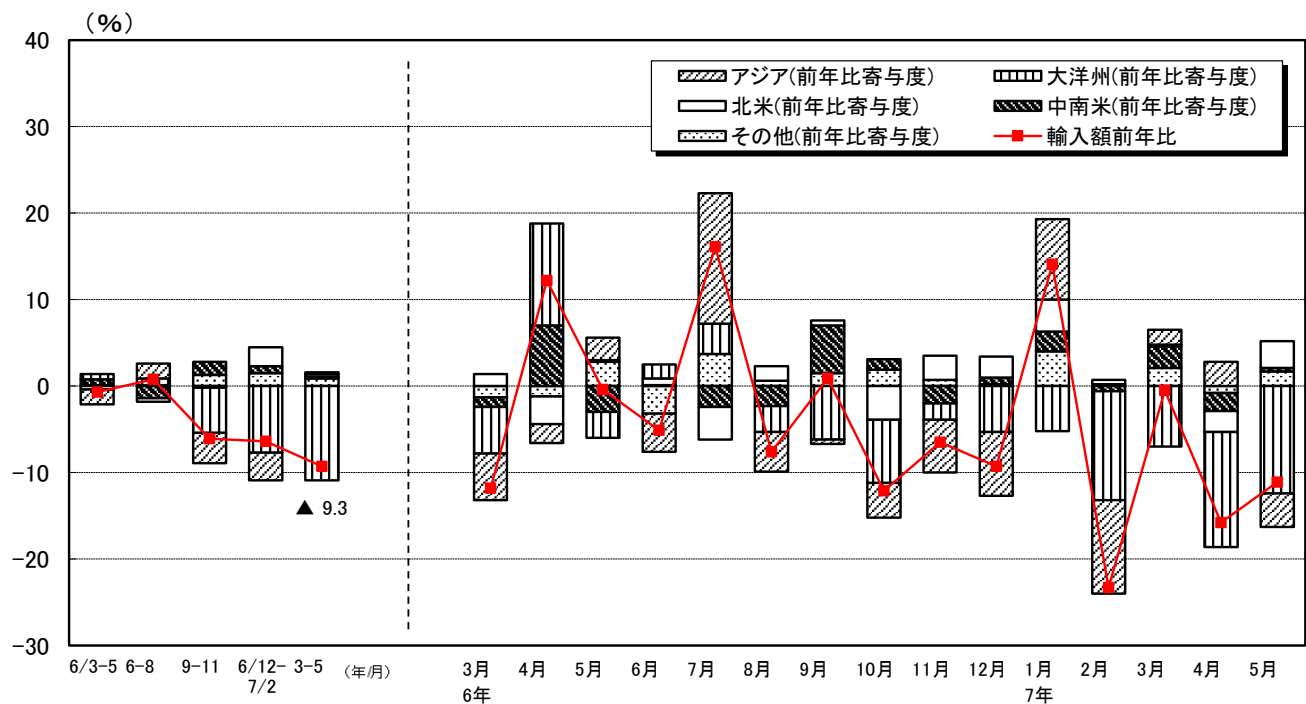
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関)